

## 愛知県環境影響評価審査会 会議録

- 1 日時 2023年（令和5年）1月23日（月）午前10時から午前11時20分まで
- 2 場所 愛知県庁 本庁舎6階 正庁
- 3 議事
  - ・西三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）岡崎西尾地域広域ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書について
- 4 出席者
  - (1) 委員
    - 中山会長、大石委員、夏原委員、橋本委員
    - 【オンライン出席】
    - 生田委員、伊藤委員、岡村委員、長田委員、上島委員、佐野委員、塚田委員、中野委員、西田委員、二宮委員、葉山委員、檀田委員、宮崎委員、義家委員
    - （以上18名）
  - (2) 事務局
    - 環境局：
      - 水野環境局長、近藤技監、武田環境政策部長
    - 環境局環境政策部環境活動推進課：
      - 加藤課長、渡邊担当課長、高橋課長補佐、猿渡主査、中村主任、大島主任
      - （以上9名）
  - (3) 都市計画決定権者等
    - 7名
- 5 傍聴人
  - 1名
- 6 会議内容
  - (1) 開会
    - ・ 会議録の署名について、中山会長が大石委員と岡村委員を指名した。
  - (2) 議事
    - 西三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）岡崎西尾地域広域ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書について
      - ・ 西三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）岡崎西尾地域広域ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書について、別紙1のとおり諮問を受けた。
      - ・ 資料1及び資料2について、事務局から説明があった。

- ・ 資料1の一部に希少な動植物の位置情報が含まれていることから、中山会長が会議の非公開について委員に諮り、当該部分の審議に限り、会議を非公開とすることとした。

#### <質疑応答>

【夏原委員】1点目は、現在の焼却炉の北側に計画施設が設置されるということだが、現在の焼却炉は撤去しないのか。今後も残していくものではないので、撤去するのであれば、その影響についても評価すべきではないか。影響を評価しないと何か悪いものがあるのではないかと疑ってしまう。

2点目は、ネイチャーポジティブについてである。最近、事業活動が自然にとってマイナスあるいは影響を与えないのではなくて、事業活動が自然にとってプラスになるようにすべきだということが国際的に言われている。この工事を機会に、例えば調整池や施設内の植栽を自然と生物多様性に配慮したものに変わっていくということも考えていただきたい。

【事務局】1点目についてだが、現在の焼却炉の撤去計画は決まっていないため、今回の環境影響評価の中には含めていない。今後、撤去を行う場合には、土壤汚染対策法などの関係法令に基づき、適切に調査等がなされるものと考えている。

2点目の、ネイチャーポジティブについてである。環境影響評価の一般的な取扱いとして、事業者が事業に伴う影響をできる限り回避、低減をしているかを評価する。そのため、環境影響評価制度の中で、事業により自然環境をより良くしていくことまでを求めるのは難しいと考えている。一方で、そういった視点は大変重要なものであるから、例えば、植栽を行う時に地域の自然環境に配慮し、外来種を用いないようにするという事などについて求めていきたい。また、方法書の107ページのとおり、調整池は、大部分がアスファルトで舗装され、通常、駐車場として利用されており、大雨が降った時に、そこで雨水を貯留するものである。この調整池は、引き続き維持する計画であるため、調整池でのネイチャーポジティブは厳しいと考えている。

【夏原委員】2点目について、制度上、難しいことは分かっているが、公的な施設なので、将来のことを見据えて考えていただきたい。

【大石委員】1点目は、今回、他の処理施設を集約する形でできるということだが、それに伴って廃止される施設の今後の計画について伺いたい。

2点目は、この集約によって、住民側から見ると今までと何が変わるのか、例えば分別方法や収集方法が変わるかなどを教えていただきたい。また、それらの周知方法についても教えていただきたい。

【事務局】1点目についてだが、環境影響評価の対象事業は、処理能力150t/日以上の焼却施設の設置の事業であり、環境影響評価の対象となるのは、対象事業実施区域の西尾市クリーンセンターからの影響である。なお、対象事業実施区域外の岡崎市八帖クリーンセンターの解体撤去計画については、

広域処理を行う関係市町で検討し、適切に対応されるものと考えている。

【都市計画決定権者】 2点目の分別収集方法についてである。現在、西尾市、岡崎市、幸田町の分別方法は、大きな違いはないものの若干の違いがあるものと認識している。今後、各市町で分別方法をなるべく統一する方向で調整しながら検討をしていきたいと考えている。また、収集方法についてだが、岡崎市の一部は岡崎市八帖クリーンセンター等から西尾市クリーンセンターへ、幸田町の一部は岡崎市中央クリーンセンターから西尾市クリーンセンターへ搬入先が変わることにより、収集ルートの変更があるものと認識している。現在、各市町において収集ルート等の検討をしているところである。

【橋本委員】 方法書についての意見の概要において、動物の重要種が配慮書よりも増えているとの指摘がある。これは、私が配慮書の審査の際に「全国鳥類繁殖分布調査」の結果を確認してはどうかと申し上げたので、追加していただいたためだと思う。「全国鳥類繁殖分布調査」の結果から、愛知県全域で確認された重要種を取り上げているため、ものすごく数が増えてしまっている。同調査では、20キロメッシュの結果を公表しているのので該当するメッシュのみを確認してもらえれば良かったのではないかと思う。

また、今後も文献調査を実施するとのことだが、もうすぐアンケート調査による越冬分布調査の報告も公表されるはずなので、それも確認していただければ良いと思う。

それから、専門家の意見や、方法書についての意見の概要において、フクロウの夜間調査について記載があるが、夜間調査の実施が難しいということであれば、ICレコーダーを使った音声の調査などを追加するのも良いと思う。

【事務局】 1点目についてだが、今後、わかりやすい図書とするように、都市計画決定権者に求めていきたい。

また、2点目については、文献調査の対象とすることを検討するよう都市計画決定権者に求めていきたい。

3点目のフクロウの調査についてだが、専門家からのご意見を踏まえ、都市計画決定権者は、12月から1月頃に夜間調査を実施するとのことであるため、適切な対応がなされるものと考えている。

【上島委員】 方法書についての意見の概要 56番の悪臭の調査に関連した質問をさせていただきたい。梅雨期と夏季に悪臭の調査を行うとのことである。この二つの時期を選んだ理由は、気温が高くなると腐敗しやすく、悪臭が発生しやすいためだと理解したが、冬季に調査する必要はないのか。

方法書の図面や写真によると、北側が低くて南側が高い地形にあるようだが、そのような場所では、冬に気温が低下して空気がよどみ、悪臭の拡散に影響があるような可能性はないのか。

【事務局】 冬季の悪臭調査については、対応を検討し部会でお示しさせていただく。

【長田委員】 冬季の特に風の弱い日に、悪臭調査を実施すると良いのではないかと思った。予め調査日が決まってしまうと、風速の弱い日を捉えること

が難しいと思うが、冬型の気圧配置でなく気温が低い日に調査を行うことを検討すると良いのではないかと思った。

また、降下ばいじん量を4季1ヶ月間調査するとのことだが、降下ばいじん量を調査するだけではなくて、重金属など土壤汚染に係る物質だけでも良いと思うので、成分もある程度、押さえておくと良いのではないかと思った。これは工事の期間と施設が稼働している時期についてである。現在、降下ばいじん中の物質を規制する法律はないのかもしれないが、降下ばいじんが堆積することで、何らかの影響を及ぼすことは十分に考えられる。そのため、そういうことが現在あるかないか、それが広範囲に影響するかどうかということも含めて、降下ばいじんの成分について、土壤汚染に関する物質だけでも調べておくと良いのではないかと思った。

【事務局】降下ばいじんの調査は、工事の実施に伴い発生する粉じんの影響を予測及び評価するため、降下ばいじんの量を調査し、成分については評価をしない計画である。

【長田委員】焼却施設なのでばい煙中の水銀については法規制があり測定されるが、落ちてくるばいじんに、土壤の汚染に係る環境基準項目の例えばカドミウムや銅などがどれだけ含まれているのかについて、測定を求める規制はない。そのため、自主規制の一環として、測定してはいかがかという意見である。

【事務局】方法書の146ページの表3.2.39に、土壤の汚染に係る環境基準項目が示されている。今回の環境影響評価の中では、対象事業実施区域の1地点において、これらの項目の土壤調査を行う計画である。

【長田委員】降下ばいじん調査では、1ヶ月間の降下ばいじん量を調査するとのことであり、降下ばいじんの成分を調査すれば、1ヶ月に、1平米当たりどれだけの物質が大気から土壤に移行するのかが計算できる。また、降下ばいじんが雨で流されず積もっていった場合の土壤汚染の程度も予想できる。そういった基礎データになるので、将来的には、そういったデータを取っていくことはどうかという意見である。

【中山会長】もし可能であれば、降下ばいじん量だけではなくて成分を把握することをご検討いただきたいという意見である。

【長田委員】既に土壤の汚染に係る環境基準があるので、それに関するデータを取っておいたらいかがかという意見である。

【事務局】ご指摘の点については、対応を検討し部会でお示しさせていただく。

【義家委員】1点目は、処理能力が配慮書時点の310t/日から292t/日に変更されたことについてだが、昨年の本審査会の意見を踏まえて見直された結果であり、正しい方向だと思う。しかし、方法書についての意見の概要にもあるように、処理能力が292t/日に減った理由が分かりにくい。処理能力は、非常に重要な諸元なので、方法書についての意見の概要にある疑問点、特に将来人口の考え方等については、丁寧に説明していく必要があると思う。

2点目は、表2.2.4の法規制値等にある排ガスの自主規制値についてだ

が、これは何に関する自主規制値か。

【事務局】1点目についてだが、今後、住民の方に丁寧に説明していくように都市計画決定権者に求めている。

2点目についてだが、計画施設の自主規制値を示している。今回の計画施設を稼働する際に、この基準を守って管理していくことになる。

【義家委員】この自主規制値は確定されたものなのか、それとも、これからも見直していくものなのか。

【事務局】西尾市が設置した委員会で、法規制値や既存の施設等の状況を踏まえた検討を経て設定したものである。西尾市からは、環境影響の予測の結果、必要な場合には、自主規制値を下げるということもあり得るが、基本的には方法書に示した自主規制値で管理していくと聞いている。

【義家委員】2030年竣工の設備の目標としては、若干ゆるい気がするので、自主規制値を適宜見直していくことが必要かと思う。

- ・ 傍聴人及び報道関係者の退出後、会議を再開し、希少な動植物の位置情報に関する審議を行った。
- ・ 資料1について、事務局から説明があった。

【葉山委員】今回の調査結果から、影響がある可能性が高いのはオオタカ1種ということが確認できた。

【橋本委員】今回の調査結果では、オオタカの餌運びが見られているものの、オスしか確認されていない。オオタカについては繁殖したと考えているのか。

【都市計画決定権者】昨年の繁殖期については、餌運びなどが確認されており、繁殖している可能性があると考えたが、早期にそのような繁殖に繋がる行動が見られなくなった。従って、繁殖に着手した可能性はあるが、途中で中断したと考えている。ただし、調査地域に執着している個体がいるので、今後の調査で、繁殖するかどうかの確認に努めたいと考えている。

【橋本委員】以前現地見学に行った際、対象事業実施区域の東側で造成工事が行われており、方法書に掲載されている植生図が作られた2008年頃から周辺の土地利用が変わってきていると思う。植生図について、現地調査を行う周囲300メートルの範囲については新しく作られると思うが、周辺の土地利用の変化を踏まえて植生図を適宜修正した上で、予測及び評価を行っていただきたい。

【事務局】ご指摘のとおり、土地利用状況などを踏まえて予測及び評価を行うよう、

都市計画決定権者に求めていきたい。

- ・ 西三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）岡崎西尾地域広域ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書について、岡崎西尾ごみ処理施設部会（別紙２）を設置し、その審議が付託された。

（３）閉会



4環活第432号  
令和5年1月23日

愛知県環境影響評価審査会  
会長 中山 恵子 様

愛知県知事 大村 秀章



西三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）岡崎西尾地域広域ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書について（諮問）

このことについて、愛知県環境影響評価条例（平成10年愛知県条例第47号）第10条第4項の規定に基づき、貴審査会の環境の保全の見地からの意見を求めます。

担 当 環境局環境政策部環境活動推進課  
環境影響評価グループ  
電 話 052-954-6211（ダイヤルイン）

## 愛知県環境影響評価審査会 岡崎西尾ごみ処理施設部会構成員

委員名	所属等
いくた きょうこ 生田 京子	名城大学理工学部教授
いとう ゆき 伊藤 由起	名古屋市立大学大学院医学研究科准教授
おかむら きよし 岡村 聖	名古屋産業大学現代ビジネス学部教授
かたやま なおみ 片山 直美	名古屋女子大学健康科学部教授
さの やすゆき 佐野 泰之	愛知工業大学工学部教授
たしろ むつみ 田代 むつみ	名古屋大学未来社会創造機構特任講師
はしもと ひろし 橋本 啓史	名城大学農学部准教授
よしいえ りょう 義家 亮	名古屋大学大学院工学研究科准教授
よしなが みか 吉永 美香	名城大学理工学部教授

(敬称略、五十音順)